

平成20年第2回蟹江町議会臨時会会議録

招 集 年 月 日	平成20年10月23日(木)			
招 集 の 場 所	蟹江町役場 議事堂			
開 会 (開 議)	10月23日 午前9時00分宣告(第1日)			
応 招 議 員	1番	松本正美	2番	伊藤俊一
	3番	山田邦夫	4番	米野秀雄
	5番	高阪康彦	6番	林英子
	7番	小原喜一郎	8番	中村英子
	9番	黒川勝好	10番	菊地久
	11番	吉田正昭	12番	山田乙三
	13番	伊藤正昇	14番	奥田信宏
	15番	猪俣二郎	16番	大原龍彦
不 応 招 議 員				

地方自治法第 121条の規 定により説明 のため出席し た者の職氏名	常勤特別職	町長	横江 淳一	副町長	水野 一郎
	行政改革推進室	室長	飯田 晴雄		
	総務部	部長	坂井 正善	次長兼 総務課長	加藤 恒弘
	民生部	部長	石原 敏男	次長兼 高齢介護課長	齋藤 仁
	産業建設部	部長	河瀬 広幸	次長兼 土木課長	水野 久夫
		次長兼 農政商工課長	佐野 宗夫		
	会計管理室	会計管理者兼 会計管理室長	加賀 松利		
	水道部	次長	大河内 幹夫		
	消防本部	消防長	上田 正治		
	教育委員会 会事務局	教育長	石垣 武雄	次長兼 教育課長	伊藤 芳樹
小中学校 給食センター 所長		村上 勝芳			
本会議に職務 のため出席し た者の職氏名	議事務会局	局長	松岡 英雄	書記	金山 昭司
議事日程	議長は、次のとおり議事日程を配付した。 (会議規則第21条)				
会議録 署名議員	議長は、会議録署名議員に次の2人を指名した。 (会議規則第120条)				
	4番	米野 秀雄	5番	高阪 康彦	

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 議案第60号 役場書庫等建設工事請負契約の締結について

日程第4 議案第61号 (仮称) 蟹江町給食センター調理器具等購入契約の締結について

○議長 奥田信宏君

皆さん、おはようございます。

平成20年第2回蟹江町議会臨時会を開催いたしましたところ、定刻までにご参集いただきまして、まことにありがとうございます。

ここで、吉田正昭君より母の葬儀の際のお礼と、山田邦夫君より入院の際のお礼がしたい旨の申し出がありましたので、発言を許可いたします。

○11番 吉田正昭君

母の葬儀の折には、議長さん初め町会議員の皆さん、そして町長さん初め部会長の皆さんには葬儀にご出席いただき、また、ご香典等をいただきありがとうございました。この場をおかりしましてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

○3番 山田邦夫君

今月上旬、病気治療で入院をいたしましたところ、蟹江町、蟹江町議会、議員互助会及び関係者からお見舞いをちょうだいいたしまして、ありがとうございました。アフターケアに専念いたしております健康の回復に努めております。ありがとうございました。

○議長 奥田信宏君

ただいまの出席議員は16名です。定足数に達しておりますので、これより平成20年第2回蟹江町議会臨時会を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

参与者には、町長、副町長、教育長、部長、次長、関係課長の出席を求め、書記には金山昭司君を指名いたします。

ここで、本会議をいったん休憩し、議会運営委員会の開催をお願いしたいと思います。

議会運営委員長 黒川勝好君、お願いをいたします。

○議会運営委員長 黒川勝好君

それでは、関係者の方、よろしく願いいたします。

○議長 奥田信宏君

それでは、本会議を暫時休憩いたします。

(午前 9時01分)

○議長 奥田信宏君

休憩前に引き続き会議を開きます。

(午前 9時12分)

○議長 奥田信宏君

ここで、ただいま開催されました議会運営委員会の協議結果の報告を求めます。

議会運営委員長 黒川勝好君、ご登壇ください。

(9番議員登壇)

○議会運営委員長 黒川勝好君

ただいま議会運営委員会で会議をされましたことにつきまして報告をさせていただきます。会期の決定につきましてです。平成20年10月23日木曜日、本日1日限りとさせていただきます。

議事日程につきましてですが、本日23日9時から議案第60号、議案第61号につきまして、議案上程後、審議、採決、その後に全員協議会を開催させていただくということで決まりましたので、よろしくお願いを申し上げます。

以上です。

(9番議員降壇)

○議長 奥田信宏君

どうもありがとうございました。

ここで、理事者側より、先ほど新聞報道されました投票券についての報告がしたい旨の申し出がありましたので、これを許可いたします。

○総務部次長・総務課長 加藤恒弘君

新聞報道で、私ども、そしてこのあたりでは弥富市等の選挙に関します、今度の総選挙に関します入場券等の印刷についての記事が載りまして、皆さまに大変ご心配をおかけいたしましたことを、まずもって私のほうから謝罪をさせていただきたいと思えます。

内容といたしましては、これは最初、解散総選挙が行われるであろうということで、県のほうからの打ち合わせ等がございまして、10月26日、あるいはその次の11月2日、これが予定をされて、順次書類で準備をするようにという指示がまいっておりました。

そういった中で、この10月26日に選挙が行われた場合につきましては、それまでの手続といたしまして選挙人名簿の作成と、そして、ただいま問題になっております投票入場券の印刷という事務が必要となってまいります。こちらについては、実は時期が1カ月ほど前に発注をしなければ、私どものほうとしては作成できないという事実がございまして、最大、私どもも期限まで動向を把握すべく愛知県にも問い合わせをし、また、選挙の専門であります選挙関係業者からの情報を取り入れながらやりましたが、実際には26日の可能性はまだ高いということで発注をかけることになりました。

これにつきまして、私どもといたしましては、金額が確かにかかりますので、こちらは最終的な流用等の予算も含めて対応させていただくというようなことも私どものほう考えまして、きちっとそこをさせていただきました。ただ、実際に26日の投票は回避されまして、今後まだ流動的に、現在では11月30日というような内容で進められるのではないかとというようなところまでいっております。その後、私どもが26日を目指してやりました結果、その後に11月2日、9日、16日という、毎週ごとに政治の状況によっていつ解散されるかわからないというような状況で、実はその次につきましても、業者のほうは発注をかけない限りできま

せんよということで私どものほうには催促がまいておりました。

ただ、私どものほうも、この26日につくらせていただきましたものを何とかその後については変更して使えないかという算段をいたしまして、私どもはきちっとそのものを、解散の時期によりますけれども、解散の時期が確定し、そして選挙日がきちっと確定した場合に対応できる場合でありましたら、もう一度きちっとした選挙人名簿、そして投票のお知らせのはがきを刷らせていただきたいとは思っておりますが、それまでの期間に急遽必要になった場合につきましては、現在持っておりますはがき、そして選挙人名簿を、私どもの手作業できちっと整理をいたしまして、これを活用させていただこうという方針で、今進ませていただいております。

最初に26日のものを刷らなければ、その後の2日、9日、16日、こういった場合に、選挙があるとなった場合には、手持ちには全く対応できる資料といえますか、対応できる物質がなくなりますので、これだけは最初の段階でそこを含めて、何もないものから、ゼロからは全く進めませんので、第1回目だけはお願いしたいということで町長にもお話をさせていただき、選挙管理委員会としてはこれを作成させていただいたというのが現状でございます。

(発言する声あり)

これにつきましては、大きな声では申し上げられませんが、私どもがお願いをしております電算会社の情報では、私どもと弥富市だけが発注をしたというものではございませんので、ただ、新聞報道のほうには私どもと、このあたりでは弥富市がというふうに載っておりますが、ほかにも幾つか、私の思っておるところでは、やはり同じような対応をしていらっしゃるようなところがあるように思っております。

おっしゃるように、言いわけがましくはなりますが、私どもといたしましてはそういう判断をさせていただきましたので、大変申しわけございません。よろしくご理解をいただきたいと思っております。

以上でございます。

○議長 奥田信宏君

本日の議事日程はお手元に配付のとおりです。

日程第1 「会議録署名議員の指名」を行います。

本臨時会の会議録署名議員は、会議規則第120条の規定により、4番米野秀雄君、5番高阪康彦君を指名いたします。

○議長 奥田信宏君

日程第2 「会期の決定」を議題といたします。

お諮りをいたします。

本臨時会の会期は、本日1日限りといたしたいと思っております。これにご異議ありませんか。

(異議なしの声あり)

○議長 奥田信宏君

ご異議なしと認めます。したがって、会期は本日1日限りと決定をいたしました。

○議長 奥田信宏君

日程第3 議案第60号「役場書庫等建設工事請負契約の締結について」を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

○総務部長 坂井正善君

提案説明した。

○議長 奥田信宏君

提案理由の説明が終わったので、これより質疑に入ります。

(なしの声あり)

質疑がないようですので、質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

(なしの声あり)

討論がないようですので、討論を終結します。

これより議案第60号を採決いたします。

お諮りをいたします。本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

(異議なしの声あり)

ご異議なしと認めます。したがって、議案第60号は原案のとおり可決をされました。

○議長 奥田信宏君

日程第4 議案第61号「(仮称)蟹江町給食センター調理器具等購入契約の締結について」を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

○教育部次長・教育課長 伊藤芳樹君

提案説明した。

○議長 奥田信宏君

提案説明が終わったので、これより質疑に入ります。

○10番 菊地 久君

大変ご苦労さまでございますし、これまでの経過、経緯は、きょう提案の中でお話わかるわけですが、要は最終的な契約の金額の問題でありますけれども、お話をされたのは昨年、業者選定やら器具の問題、中身の問題で見積もりを取りながら一定の数字をお出しになったと思うわけです。昨年そういうお話をして1年経過をしたときの、今の日本の経済情勢等々踏まえたり、例えばステンレス価格、鉄は昨年より上がりました。しかしステンレスは下がっておるわけです。ほとんどこの調理器具はステンレスです。そういうことからいうと、原

材料はマイナス方向だと思うわけです。そういう点がどのように考慮されたのかどうなのか、これは業者との話で随契でございますので、相手はもう懐に入れた物件であります。その辺を、特に給食センターの建設に当たって、小原建設、非常に努力をしたわけでありまして、今回の役場の書庫の問題についてでも、最終的には随契で町のとめ札で泣いてもらっております。こういう建築業者のところは一生懸命努力をしておるわけです。

ところが一方では、こういう随契のやり方ですね、プロポーザル方式で去年5社から選んで、こういう方法だでええよと、だからこうだということで、しかし、器具やなんかずっと見たって、わざわざこの業者がつくらなくたって出来るものばかりですよ。システムが違うというだけであって。それを考えたときに、特殊、特殊で何でもないにも関わらず、大体こんなものは2億切れなければいかんわ、本来は。私が見積もるわけではないけれども、一般的な経済情勢からいうと、そのぐらいまけよというぐらいの気持ちで話をせんといかん金額ではないのかと。

その辺について、私はもうここまで話がきて、ここまでやる以上はやむを得んと思いますけれども、担当者として、町としては、経済情勢、今の諸般の状況を踏まえたときに、ドルは安くなって、円は高くなって、輸出産業は大打撃だし、銀行だって株だって、非常に大変で、会社そのものも存続が危ないとか、雇用されている労働者も大変だとかいうマイナス要素ばかりのときですね。ところが、地方自治体の金というのは税金でございますので業者は心配ないですよ、絶対にもらえますからね。だから安心を買ってもらうために少し安くせよと、こういう交渉ごとというのは、役場の職員の皆さんに言ってもなかなか経験が薄いもんですから、相手は百戦錬磨でございますのでやられちゃうとは思いますが。

しかし、こういう気持ちが議会の側にはあったということ伝えてもらいたいです。もっと何とかせんかと。決まりや、決まったでやむを得んけれども、この辺のところ、もう1個何かサービスつけんかとか、商売やっている人はみんなそうだね。お客さん買いに来ると、ちょっとこれ1個ぐらいサービスしたらどうだとか、ちょっとまけてくれたらどうだというのが買うほうの側でしょう。だからそういう気持ちを持って、何らかの形で決められた金額を後で決定されればそれでいいんですが、こういう気持ちで我々は見とるということだけは、何でも喜んで、出たでええかええか、そうかそうかというわけにはいかんぜよ。この辺は担当者、これから当たる方々がそういう気持ちを持って当たれるかどうか。一遍その辺をお尋ねを先にしておきたいわけです。いかがなものでしょう。

○教育部次長・教育課長 伊藤芳樹君

私どもとしましては、これはずっと前から議員の皆様方から心配していただいております。金額につきましては、実は建設の入札については結果的に当初私どもが考えていた金額より1億円ほど低い金額で落ちることができて本当によかったと思っておりますが、実際に価格を交渉する折に、建設については前にもご説明申し上げましたように実は確認申請を既に出

していたということもあって、なかなか設計の内容を変えることができず、本来は何とか建築自体の設計の金額が落とせれば一番よかったんですが、そういうこともちょっとできなかったということもあって、そういう中で調理器具の購入業者との価格交渉に入っていたわけです。

建築が落ちない以上、備品の関係で何とか大きな金額を落とせないものかということで、私どももこの調理器具業者のほうに私どもの現状をご説明して、何とか低くいきたいんだと、そういうことも業者さんとお話を持ちました。私どもの感覚としては、金額的に今の考えているもので金額が落ちないということであれば、例えば物の性質を落としてでも何とか金額を抑えられないものかですとか、そういうことも業者さんとはやっておりましたけれども、ただ業者にしてみれば、そうやって物をかえることによって金額を変えるということは、それは自分たちのプライドというか、そういうこともあるし、そんなことは当然考えられないと。業者自体も、今回、当初5社のプロポーザルで提案、それから見積もり金額等も出させていただいておりますので、その見積もり金額を出しているときにもすでに当然5社からは見積もりが出るわけですから、そこで既に競争は起きているわけなんです。

結果的に、定価の額と今回出てきた数字とといいますのは、最終的には定価の大体46.5%ぐらいだったと思いますが、そのぐらいの値引き率といいますか、そういうことで今回数字が上がっています。

これは、先ほど言いましたように、設計と施工も入っておりますので、単に備品そのものという価格ではありません。その辺のところも十分考慮して業者さんのほうは出しているかと思えます。ただ、おっしゃるように、今の経済情勢からすると非常に変動が激しいということがありますので、今の本当の情勢からすると、例えば鉄や何かは本当に下落しているということも聞きましたし、ステンレス関係も下落ということも聞きました。ただ、実際にこうやって価格交渉をしているときは非常に高騰の時期ということもありましたし、それこそステンレスについてもニッケルだとかクロム系の原材料といいますか、その辺が非常に高くなっているという、そういうことも聞きましたので、そういうことも考慮しがてら、私どもは価格交渉させていただいたつもりでございます。

結果的に私どもが思っていた当初2億2,000万の金額が、最終的には2億1,700万という数字に交渉でもってやらせていただいたという、そういう経緯でございますので、何とぞご理解いただけるとありがたいと思っております。

以上でございます。

○町長 横江淳一君

それでは、ちょっと補足説明をさせていただきます。

菊地議員並びに議員各位の皆様方には、本当にこの給食センターのことにつきましては建築、それから中の備品につきまして大変ご心配をいただいております。まことにありがとう

ございます。

そんな中で、今菊地議員からの備品の説明であります。確かにステンレスのプロであります菊地議員から言われますと、若干ステンレスの価格が乱高下をしているというのは十分ご承知おきでありますし、菊地さんのところが受ければもっと安くできるのではないかなというジレンマもあるかに思っております。私もそのとおりだと思っております。そういう意味で再三再四業者を呼ばせていただきまして、こういうステンレスのプロの議員さんもお見えになると、恥ずかしいものはつくりたくないからということで、実はいろいろお願いをいたしました。その結果、今次長が説明いたしましたとおり精いっぱい努力をさせていただいておるんですが、実際設計をやっている段階の中で、例えばこういう状況になったらどうだということでサービスをさせられるかどうかは知りませんが、いろんなところで我々は逐次業者に対していろんなことを言っていくつもりであります。

たしか、選定のときに、議員さんから2億2,000万から300万ぐらいしか少なくならなかったのかというご指摘もいただきました。包丁の数を少なくしたり、備品の数を少なくしたり、小手先だけの問題ではございません。そういう意味で業者には十分お願いをして、同規模でつくって、恥ずかしくないものをつくってくださいと。そのかわり、皆様方には最後の最後まで責任を持っていただき、20年、30年、蟹江町にずっとこの給食センターはあるわけありますので、そういう意味で業者にはいろんなお願いをしております。まだまだ足りないかもわかりませんが、何とぞご理解をいただいて、今後もフォローをいただければありがたいというふうに思っております。

以上です。

○12番 山田乙三君

12番 山田乙三です。ちょっとお尋ねしたいと思えますけれども、まず、この関連では質問、いわゆる内容外かもしれませんが、レトルト食品ですね、いわゆる冷凍したものを加工してやるというのが今主流になっていますし、給食センターだとゼロとは言わせません。かなりのウェイトを占めていると思えますし、今回導入したオール電化の中でもどうなんですかという問題点も私なりにつかんでおります。

それから、今菊地議員からもお話ありましたけれども、物というのはまとめて買えば安くなるのは当然なんです。ここでよく出て、私余り好きじゃないんですが、プロポーザルというのがおられまして、ここを通じてああだこうだと知恵をおかりして納入するという手はずも決して悪いわけではないですけれども、例えば冷蔵庫、それから冷凍冷蔵庫、数いくと、まとめて買えば当然安くなりますね、素人が考えても。こういうことを、例えば給食センターの所長を中心としてやられたかどうか。下手するとプロポーザルに丸投げという言葉、ちょっと誤解してもらっては困りますけれども、おんぶにだっこに近い形がありはしないかな。

私はちょっと心配するわけですが、もう一つ、洗浄室の中に96番目のシステム食器

洗浄機と、それから98番目に超音波洗浄機とこういうものがございまして、私は大体わかりますけれども、物見ていませんからはっきり言えませんけれども、超音波は超音波で洗浄することはよくわかりますし、それから食器洗浄機といっても、例えば皆さんがよくわかるようにあえて言えますけれども、ホシザキ、厨房機器の一流メーカーといわれているのはペンギンのマークのホシザキ電機ですね。それから北区にございます北沢産業、こういうのが大体愛知県下で給食設備の冷凍冷蔵庫やら冷蔵庫、あるいは厨房機器のステンレス製品一般も請け負ってやっておられるプロフェッショナルなところなんです。

今回、プロポーザル通じて入って、まったく私は入っていないと見ていますけれども、こういうところの比較対象ですね。例えば2点見積もり、3点見積もり参考にしながら、いわゆる知識レベルを上げるためにやっておられないと、私は失礼ですけれどもあえてそう言いますが、そんな作業をされたかどうか。とにかく項目を挙げるのが精いっぱい。

要約しますと、まず1つは、蟹江町の給食センターにおける現状のレトルト食品、これからもふえるであろう食品の取り扱い。もう一つ、地産地消と言いますけれども、表面的なものです。私もサラリーマン時代に携わっていましたが、とにかくベースは安定的供給がなければだめなんだと。担当者よくわかってみえますけれども、例えば米でも地元の業者から買えばいい、こういうことですが、米ぐらいのことは何でもないかもしれませんが、野菜でもドカスカあってはいかんと。ですから、大きな何々協会とか、そういう食品協会とかを通じてやらざるを得んというのが、正直言って偽らざる実態なんです。地産地消、地産地消と言っても、小ぶりでは保育所とかいろいろなことをやっておられるところはありますけれども、一般的には、これだけ一日の給食数を扱うところについては、米についても、それから野菜についても大手を通じてやむを得ず、やりたくないけれどもやらざるを得んと、こういうのが私は実態だと思っています。

それで、現在のレトルト食品の比率ですね。今回オール電化ですから、火を使わないですからレトルト食品、それから米は中京パンにやっていただいていますね、ですから米は炊く必要がまったくない、惣菜だけですね。

それと、システム洗浄機の食器洗浄機があって、超音波洗浄機も98番目に計上してありますけれども、何がためにこういうものをやるか。超音波洗浄機を使わざるを得ないものは何なのか、こういうことを一応説明していただきたいし、例えば、給食センターの所長にもちよっと話をしたことがありますけれども、シダックスのスーパーバイザーといえますか、当然業者来るんですよ。ゼネラルフーズでもシダックスでも、私担当よく知っていますけれども、売り込みに来たり。そういう知恵とか、参考見積的なものを、当然私はやっていただくべきだと思いますし、例えばホシザキ電機でもそうだし、北沢産業でもそうですし、シダックスでもそうですし、どうなんですか。プロポーザルだからって、ポッとこっちにではなくて、そういう比較対照の中で、高い、安い、あるいはこれは要らない。

それから洗浄した後に殺菌灯をつけて食器を保管する器具が当然必要なんですけれども、そういったもの、ちょっとこの中ではあるよと言われればどれに該当するか知りませんが、かなりの皿とかいうものが、例えばドイツ製の食器洗浄機、私も導入しましたけれども、自動でやって乾かして、殺菌灯通って、一晩殺菌つけて保管していくと、こういうことですが、けれどもその辺ちょっと一遍。

○小中学校給食センター所長 村上勝芳君

一覧の96番、98番の洗浄機なんですけど、超音波洗浄機の欄もございまして、超音波の洗浄機につきましては、通常の洗浄機にプラス細かい部分も超音波によってきれいにするために必要なものとして設置を考えております。

そのほかにも、メーカーとして今回中西製作所から購入ということで考えましたが、多分メーカーでもホシザキ、北沢ということで話がありましたが、その都度用途に合わせて必要なもので、ホシザキとかというのは冷凍とかが主力でありますので、そういう用途であればそういうメーカーのものと考えますが、今回一式、システム全体でございまして、今回中西のメーカーを総合的に考えて導入させていただこうと思っています。

以上です。

○12番 山田乙三君

私は、冷蔵庫だけ一つとって見ても冷凍冷蔵庫でいいと思うんです。担当者に余り質問しても、はっきり言ってわけわからんです。冷凍機と冷凍冷蔵庫の違いを述べてみいといっても、はっきり言って述べられんと思いますけれども、値段的にもそんなに変わりません。ですけれども、やはり食品の安全ということからいけば、より冷凍冷蔵庫を使う。中のほうも今非常にデジタルで表示されて、ステンレスで非常にスマートなものができますし、そういうものを実際に見ておられないでしょう、このプロポーザルに話される前に。実際に現地に行きながらこうだあだという予備知識というのは、残念だけ。

ですから、菊地議員も今、要は金を低くしてくれということだろうということですが、とにかくやはり担当でトップに立たれる方は、はっきり言ってやっていただかなければいかんですよ。これは小さい子でもできますよ。丸投げしてプロポーザルにやって、こうだといって、これから選んで、これはいらんなとやって、こういうメガネとか入れ歯とか、そういうのは超音波が必要でしょうけれども、私は余り超音波洗浄機なんていうのは必要ないだろうと思いますけれども。

その辺で。

○議長 奥田信宏君

他に質疑はありませんか。

(なしの声あり)

それでは質疑がないようですので、以上で質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

(なしの声あり)

討論がないようですので、討論を終結いたします。

これより議案第61号を採決いたします。

お諮りをいたします。本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

(異議なしの声あり)

ご異議なしと認めます。したがって、議案第61号は、原案のとおり可決をされました。

○議長 奥田信宏君

以上で、本臨時会の会議に付議された事件はすべて議了いたしました。したがって、平成20年第2回蟹江町議会臨時会を閉会といたします。

(午前 9時56分)

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためにここに署名する。

蟹江町議会議長

奥田信宏

4番議員

米野秀雄

5番議員

高阪康彦